

5万分の1地質図幅「北条」

尾崎正紀¹⁾・栗本史雄¹⁾・原山 智¹⁾

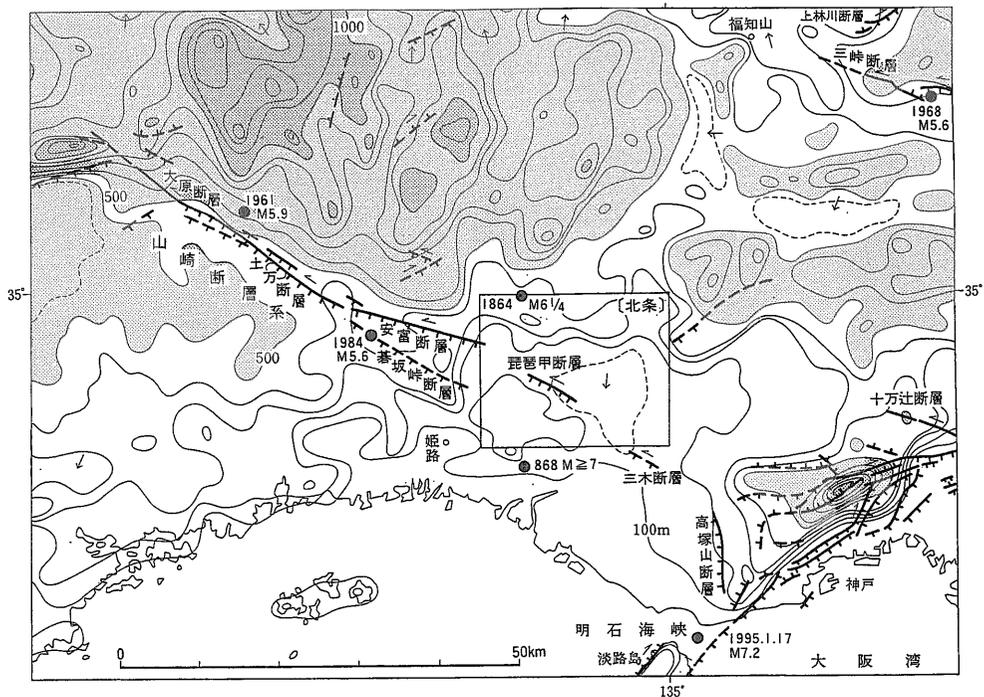
北条図幅は兵庫県中部の加西市を中心とした地域で、西脇市、加東郡、小野市、姫路市などを含む地域です。丹波山地と播磨平野の境にあり、標高100 m以下の丘陵地を中心とする低地が標高数百mの山地に囲まれています。

この地域の地質は、大きく二畳紀～ジュラ紀の地層及び火成岩類、白亜紀の火成岩類、新生代の地層に分けることができます。

白亜紀以前のもは二畳紀の上月-龍野帯(舞鶴帯)及び超丹波帯、ジュラ紀の丹波帯に区分できます。上月-龍野帯のうち本地域には、海洋地殻の破片と考えられる斑れい岩から構成される夜久野コン

プレックスと前弧海盆中の海底扇状地で形成された砂岩泥岩互層から構成される龍野層群上部が分布します。超丹波帯は、海洋プレートが沈み込む際に前弧海盆で堆積したものと、海溝沿いの深海海段の堆積物と海洋地殻及び遠洋堆積物が複雑に合体して形成された堆積岩コンプレックスからなりますが、本地域には堆積岩コンプレックス(主に砂岩と泥岩から構成され、一部チャートを含む)のみが分布します。丹波帯も超丹波帯と同様で、本地域には堆積岩コンプレックス(頁岩を主体とし、砂岩・チャート・緑色岩からなる)のみが分布します。

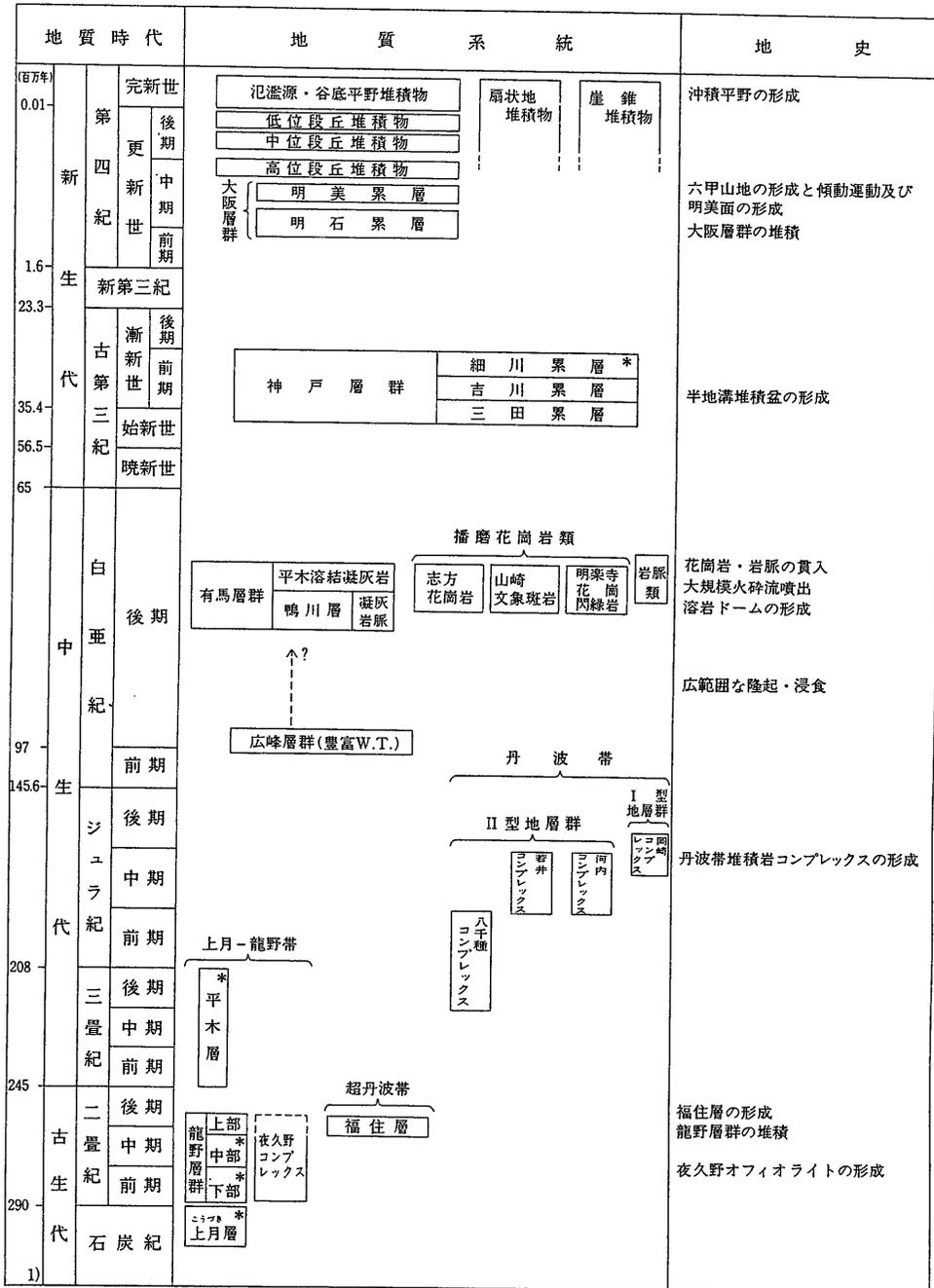
白亜紀火成岩類は、白亜紀前期の火山岩類(広峰



第1図 北条地域周辺の活断層系

1) 地質調査所 地質部

キーワード：北条, 5万分の1地質図幅, 上月-龍野帯, 超丹波帯, 丹波帯, 白亜紀火成岩類, 神戸層群, 大阪層群, 活断層



第2図 北条地域の地質

層群), 白亜紀後期の火山岩類(有馬層群)及び貫入岩類からなります。広峰層群は流紋岩溶結凝灰岩, 有馬層群は主に流紋岩質の火砕岩及び溶岩からなり一部安山岩質火山岩類を含みます。貫入岩類は, 播磨花崗岩類と岩脈類からなります。

新生代の地層は, 始新世後期~漸新世前期の神戸

層群と第四紀の大阪層群・段丘地積物・沖積層に区分されます。神戸層群は, 下部に一部海成堆積物を含む以外は, 主に砂岩・礫岩・泥岩からなる河川, 湖, 扇状地の堆積物からなり, 凝灰岩を多く含みます。大阪層群は, 広く大阪周辺地域に分布する鮮新世から更新世中期の湖~河成及びデルタ堆積物です



第3図 5万分の1地質図幅「北条」.

が、本地域にはその上部の主に扇状地堆積物からなる礫層が分布します。更新世中期～後期の段丘堆積物は特に加古川沿いに広く分布し、主に礫層からなります。

本地域は山崎断層系の東部及び六甲山地の北西方

に位置するため、活構造としては本地域中央部に活断層(琵琶甲断層)が、本地域東部には六甲山地の隆起に伴う段丘面の北西方向への傾動が認められます。ただし、琵琶甲断層についてはここ10数万年ぐらい活動した証拠は得られていません。